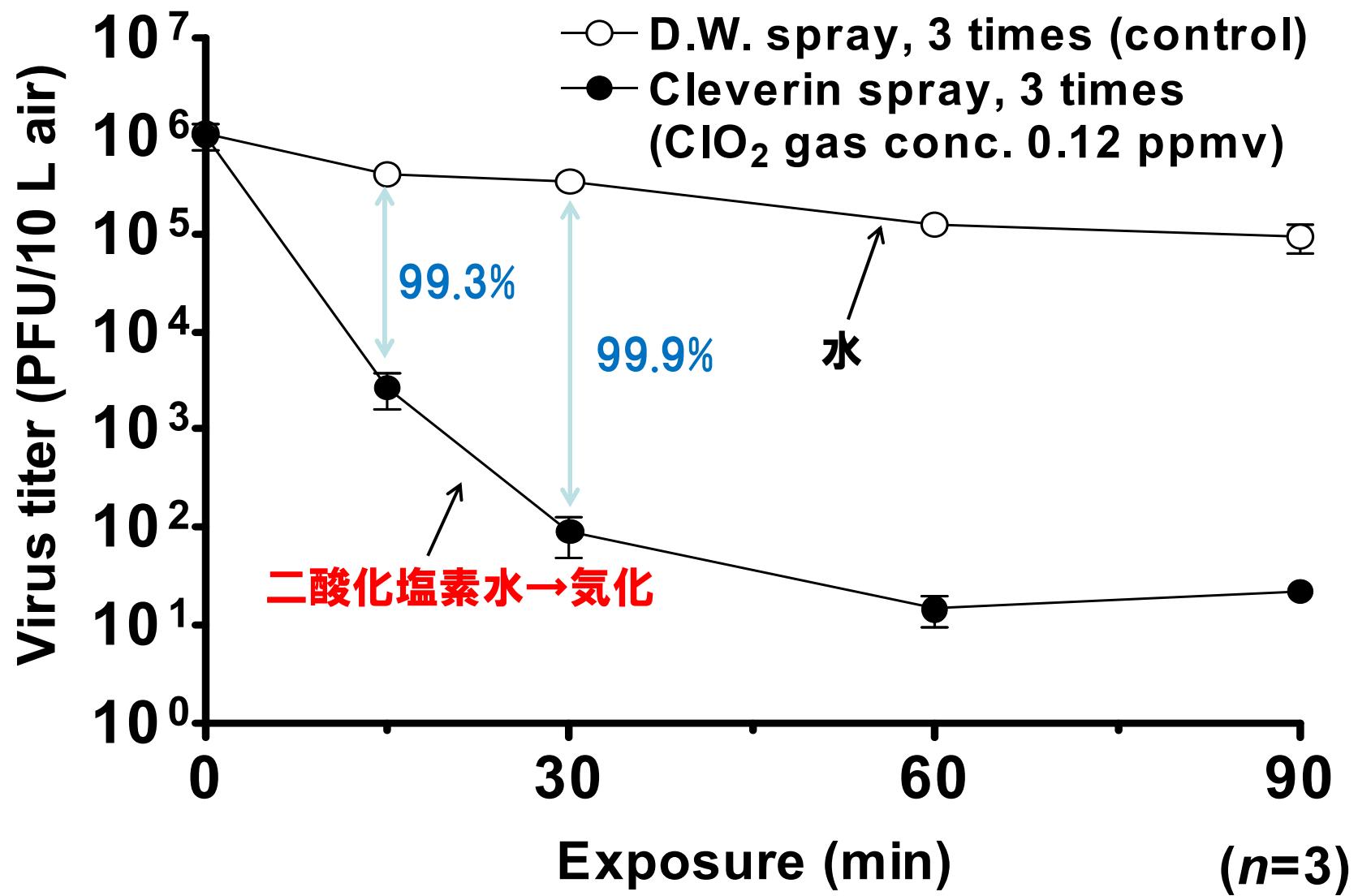


# 4ppm二酸化塩素を用いた殺菌効果

二酸化塩素との接触1分後. 1億個が0個になる

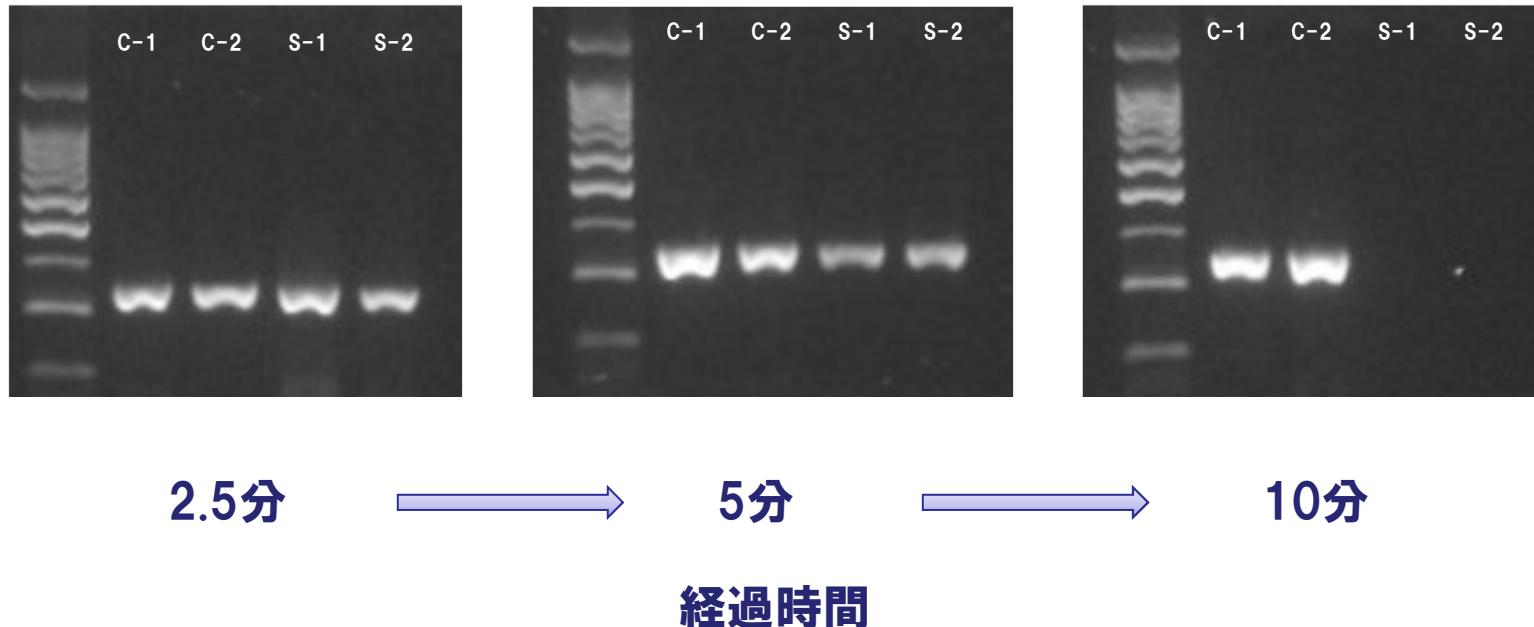
| Strain No | 菌名                      | 由来        | 接触前               | 1min 接触後 |
|-----------|-------------------------|-----------|-------------------|----------|
| 1         | MRSA                    | 高度耐性ブドウ球菌 | $1.3 \times 10^8$ | 0        |
| 2         | P.aeruginosa            | 緑膿菌       | $3.1 \times 10^8$ | 0        |
| 3         | MDRP                    | 多剤耐性緑膿菌   | $2.6 \times 10^8$ | 0        |
| 4         | C.albicans              | 酵母状真菌     | $2.6 \times 10^6$ | 0        |
| 5         | C.glabrata              | 酵母状真菌     | $6.5 \times 10^6$ | 0        |
| 6         | Trichosporon asahi      | 水虫菌       | $1.8 \times 10^6$ | 0        |
| 7         | EHEC 腸管出血性大腸菌           | 腸管出血性大腸菌  | $2.8 \times 10^8$ | 0        |
| 8         | Salmonella              | サルモネラ菌    | $3.1 \times 10^8$ | 0        |
| 9         | Vibrio parahaemolyticus | 腸炎ビプリオ    | $3.8 \times 10^4$ | 0        |

# 二酸化塩素の空間除菌 除ウイルス効果



大幸薬品社内データ

## 50ppm二酸化塩素を用いたノロウイルスRNAの不活化



mRNAの分解を意味する。測定はmRNA → DNA → PCR  
C-1とC-2はコントロール、S-1とS-2はノロウイルス。  
5分でノロウイルスのmRNAが破壊され始め、10分で完全に破壊されている結果がわかる。mRNAの完全破壊を目安にしているが、ノロウイルス自体はさらに短時間で不活化されていると考えられる。

# 補足資料）嘔吐物処理用キットを用意しとく。



嘔吐原因菌  
ノロウイルス  
腸管出血性大腸菌  
カンピロバクター  
腸炎ビブリオ  
サルモネラ  
ウエルシュ菌  
セレウス菌



嘔吐物処理キットの一例：  
処理に必要なものが揃っている  
使用期限は必ず確認する。

シューカバーがない場合は  
ビニール袋と輪ゴムで代用  
必ずつけること！

髪が長い人が処理中に  
汚染物につかないように  
するため

吐物を凝固剤で固めて内部で除菌処理できるものもあります。



# 補足資料) 感染性胃腸炎(ノロウイルスなど)

【対応】

吐物の処理

1



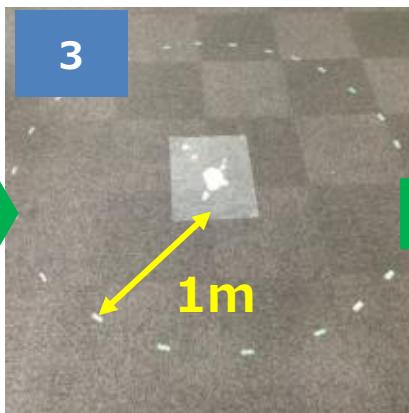
手袋、ディスポエプロン、マスク、  
シューカバーを着用。  
(髪の長い方は使い捨てキャップ)

2



シューカバーがなければ  
ビニール袋と輪ゴムで代用。

3



絨毯の吐物から半径1m位  
の所を目安に消毒する。

4



外側から中央に向かって  
二酸化塩素溶液を  
散布していく。

5



リノリウムの床などの場合は  
二酸化塩素溶液を  
含ませた使い捨てタオルで清拭。

6



吐物には二酸化塩素溶液  
を直接、十分な量を  
かける。

7



吐物とその周辺を新聞紙や  
ごみ袋などで覆い、  
5分間放置する。

8

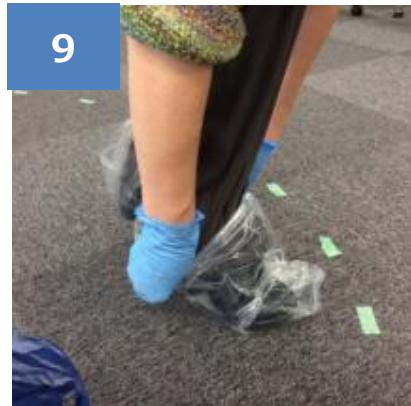


吐物を取る。その後、もう一度  
床を消毒する。汚物は全て  
ビニール袋に入れて密封する。

# 補足資料) 感染性胃腸炎(ノロウイルスなど)

【対応】

吐物の処理



9 円の内側でシューカバーを取る。



10 もう一方のシューカバーも取る。



11 手袋を中表にして外す。



12 エプロンを中表にして外す。



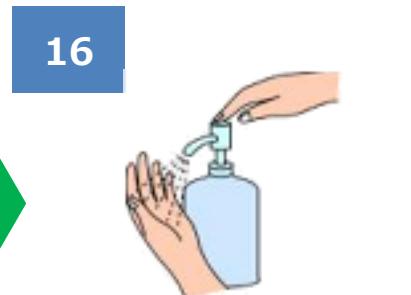
13 マスクを外す。



14 装着していたものもビニール袋に入れ密封、吐物と共に感染性廃棄物として廃棄する。



15 液体石鹼と流水で30秒  
2回手洗い後、ペーパータオルで水分を取る。

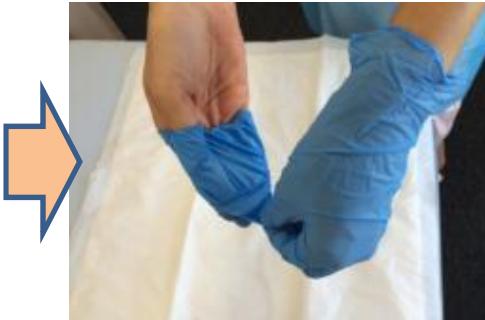


16 速乾性手指消毒薬で消毒する。

# 補足資料）ディスポーザブル手袋の外し方



片方の手袋の袖口をつかむ。



表裏逆になるように引っ張って脱ぐ。



外した手袋を、手袋をしている手で丸めて持つ。



手袋を外した手を反対の手袋の袖口に差し込む。



手袋を引っ張って汚れた面が内側になるように外す。

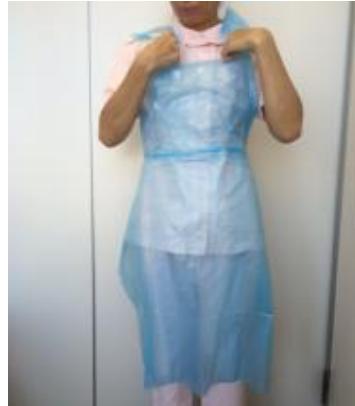


完全に取り外す。



決められた場所に廃棄する。

# 補足資料）ディスポーザブルエプロンの外し方



首ひもを左右に  
引っ張って切る。

胸あて部分を  
前にたらす。

左右の裾を持ち上げ  
表が内側になるように  
折りたたむ。

腰の前あたりで  
小さく丸める。



腰ひもを引っ張って  
外す。

小さく丸める。

手洗い



決められた場所に廃棄する。